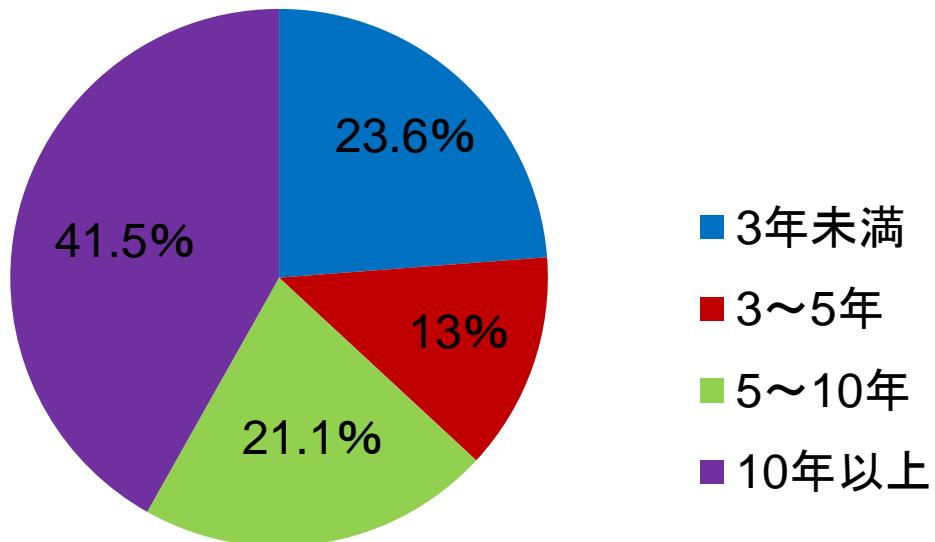
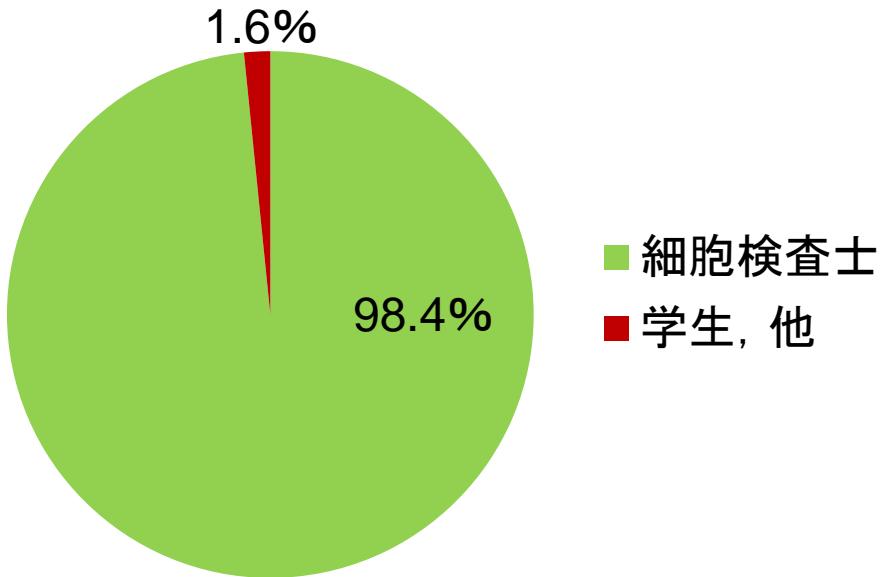


# 第44回東京都細胞検査士会 学術研修会

## アンケート集計結果

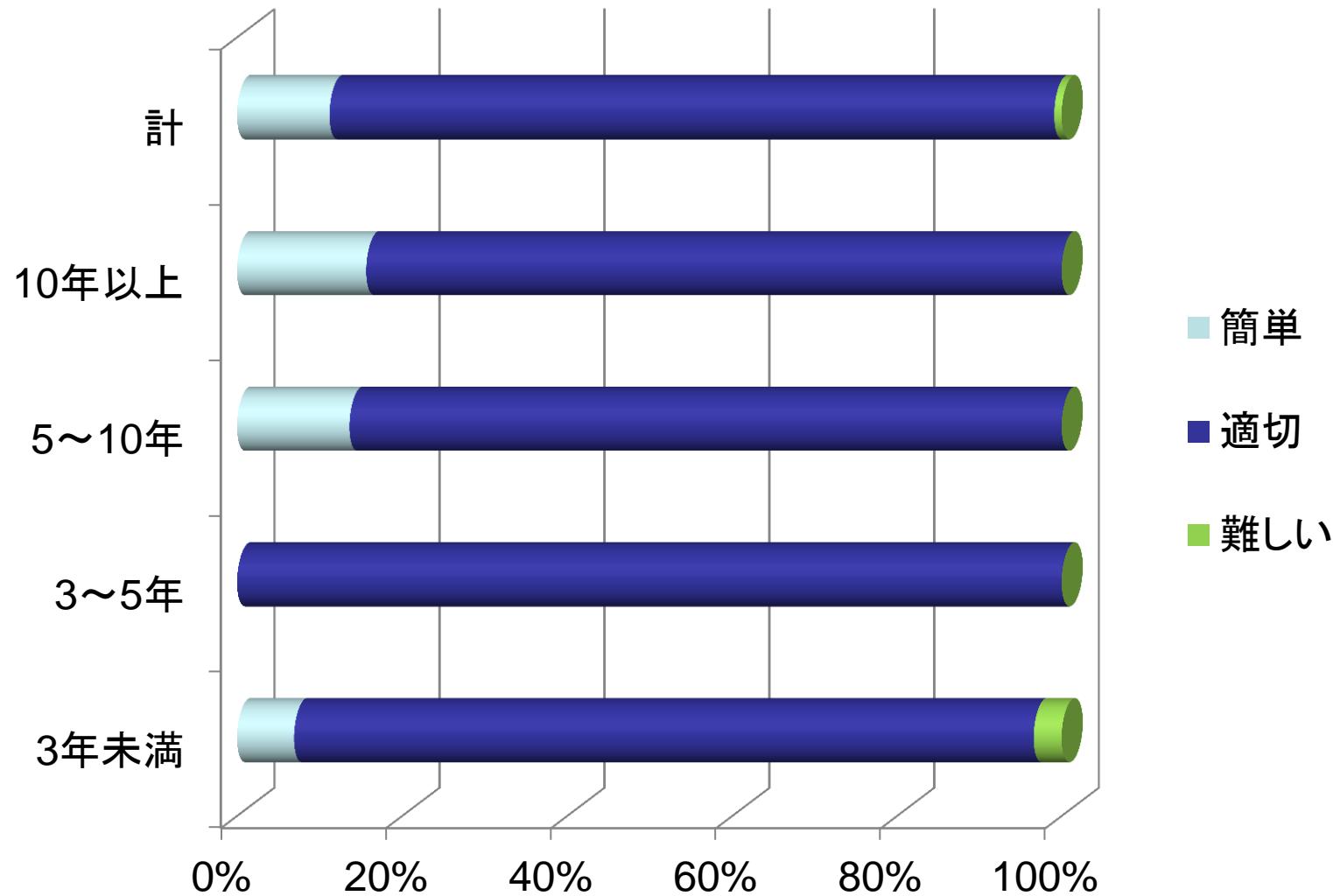
2014年2月21日 昭和大学 臨床講堂  
回答:125名

## I. あなたは細胞検査士ですか？



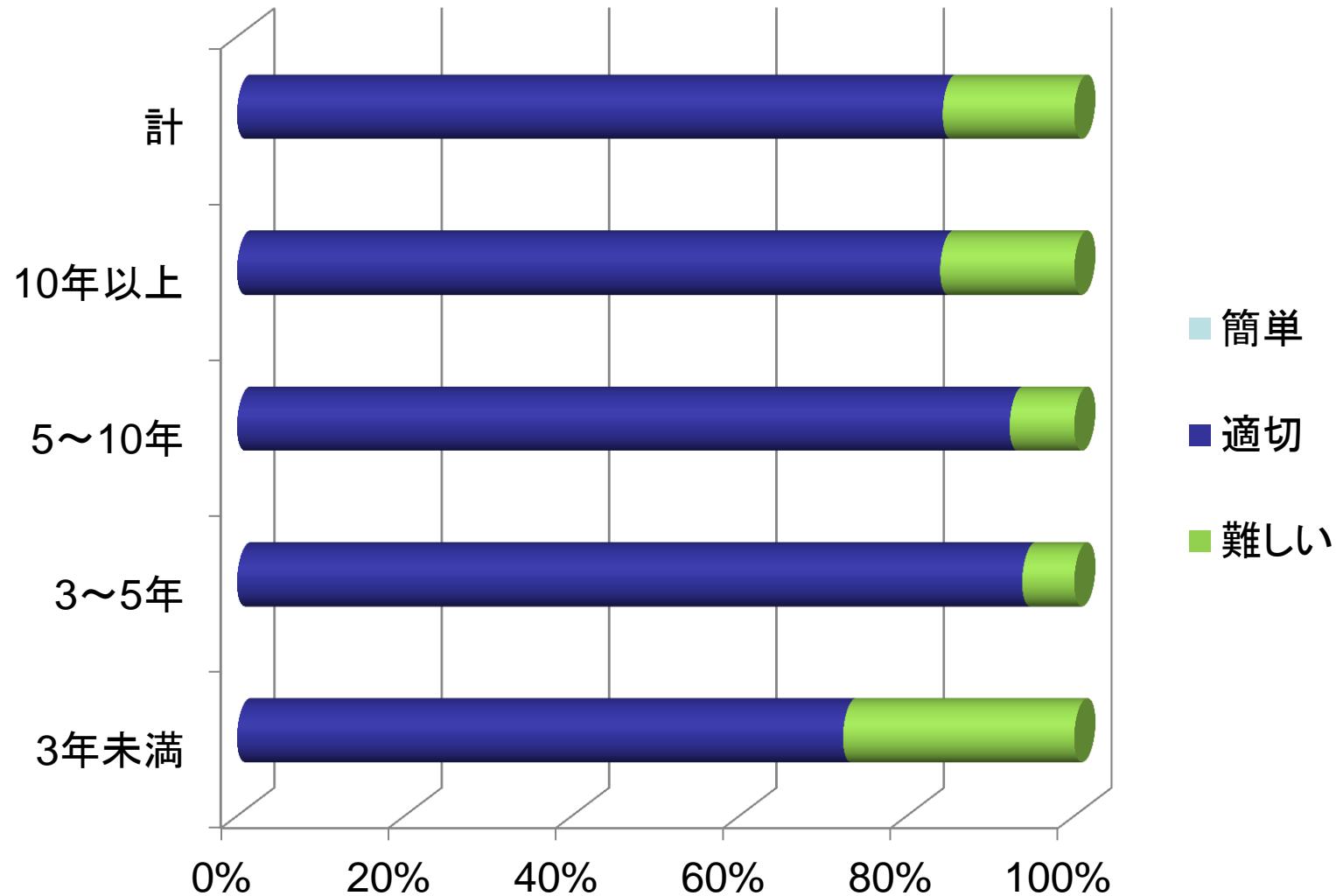
## II. 講演・症例提供について(細胞検査士回答のみ)

### 1. 特別講演: 婦人科病理と細胞診



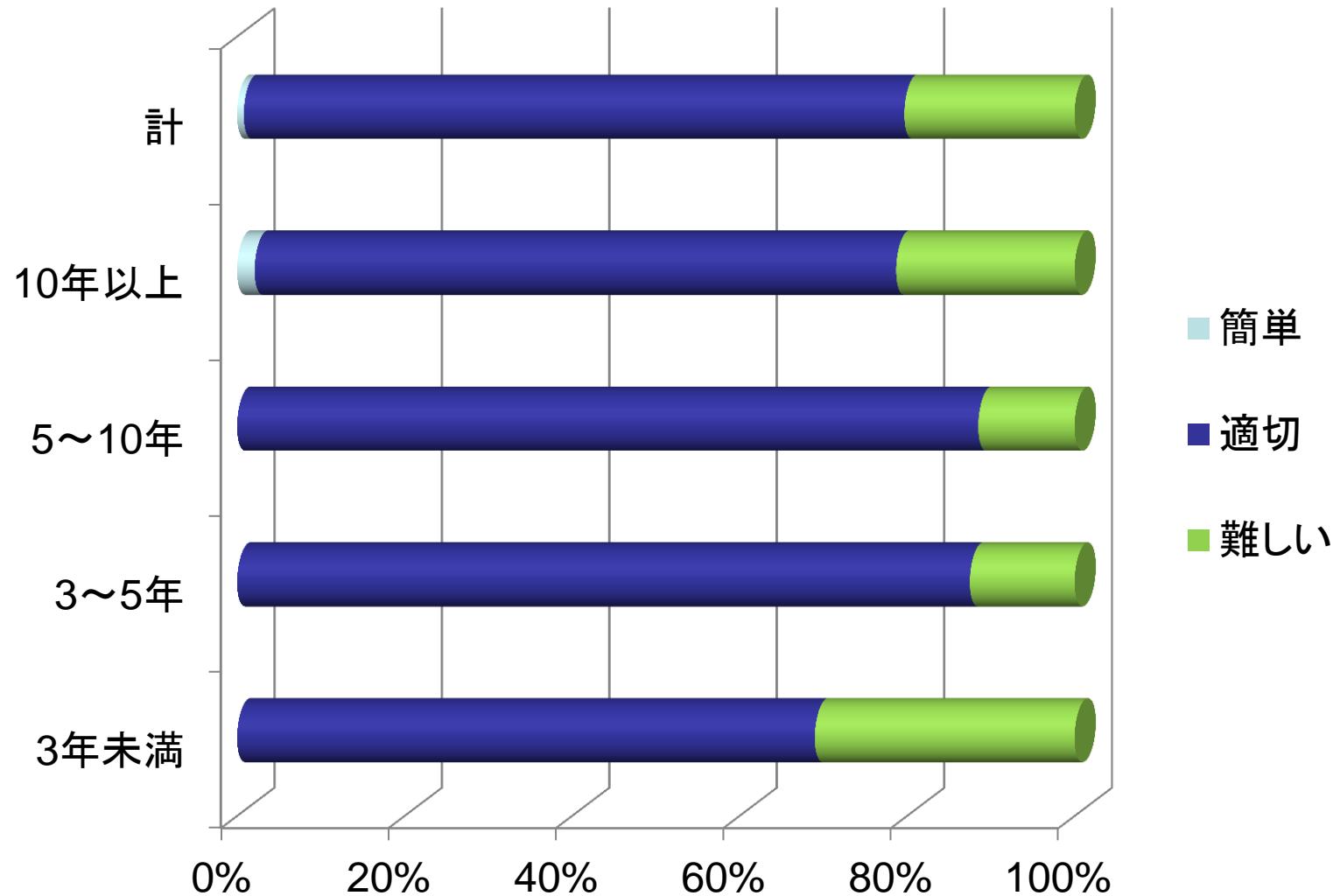
## Ⅱ. 講演・症例提供について(細胞検査士回答のみ)

### 2. 教育講演 I : 膀胱癌の診断に求められる細胞診



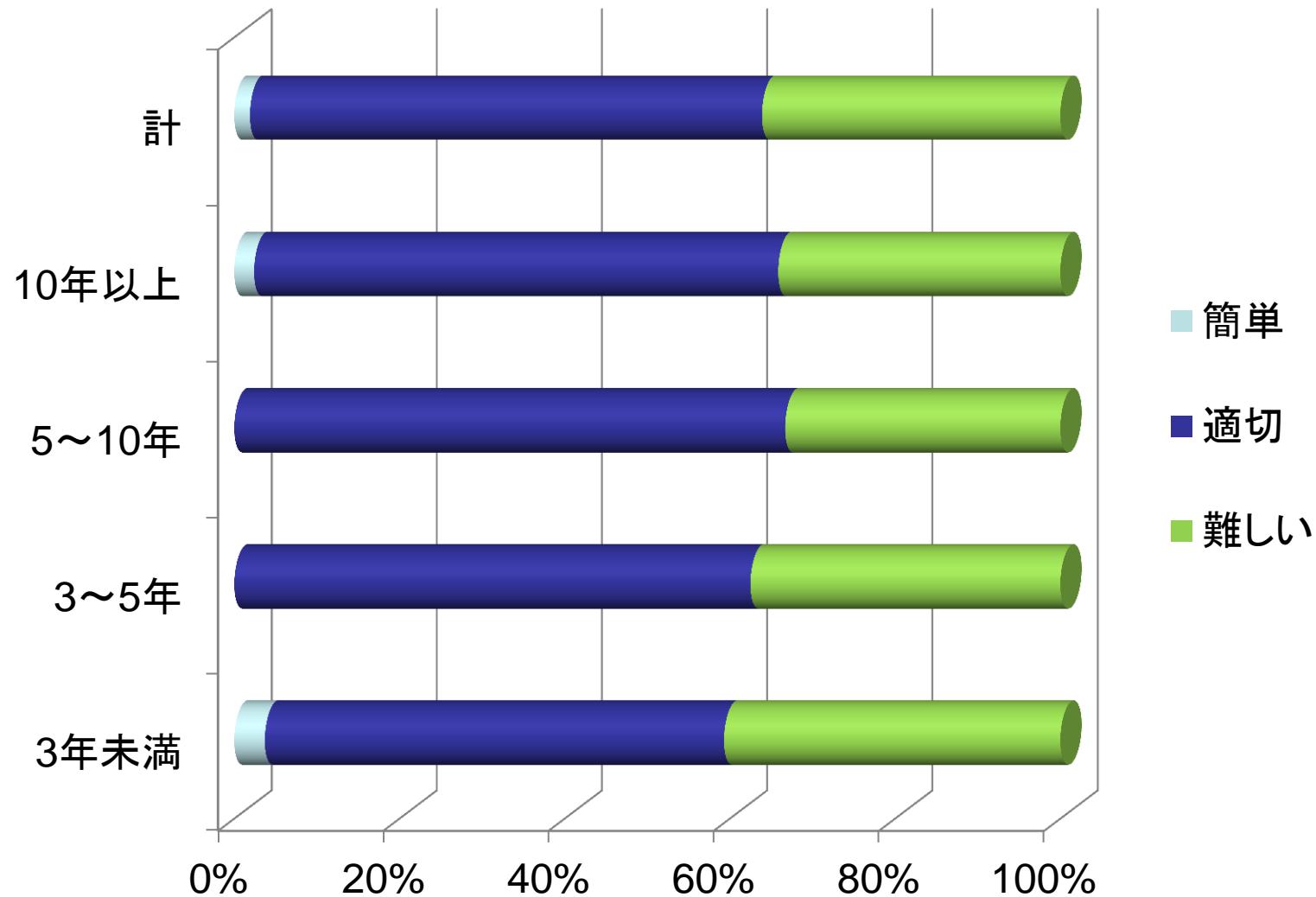
## Ⅱ. 講演・症例提供について(細胞検査士回答のみ)

### 3. 教育講演Ⅱ：低異型尿路上皮癌の細胞像



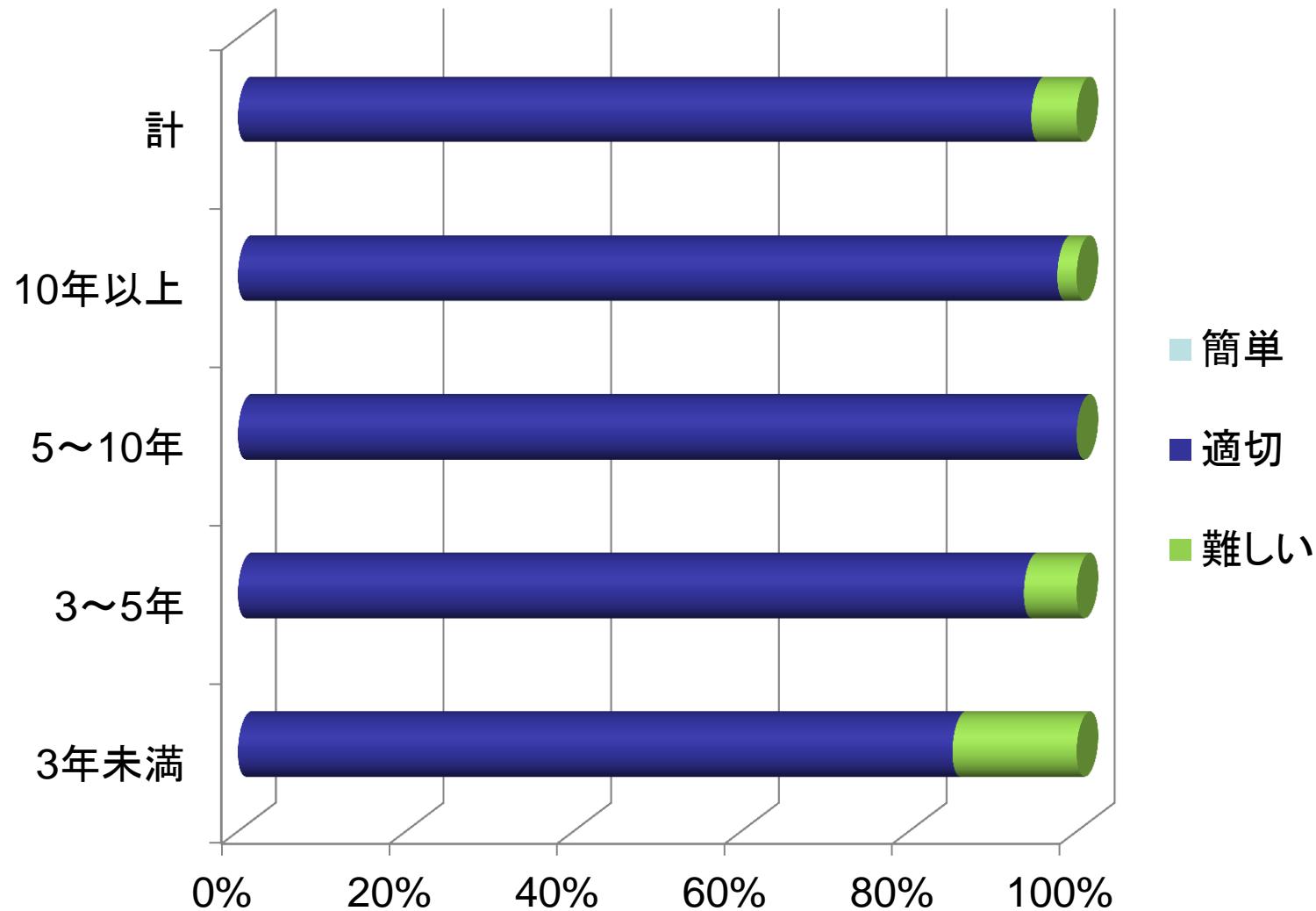
## Ⅱ. 講演・症例提供について(細胞検査士回答のみ)

### 3. 症例検討



## II. 講演・症例提供について(細胞検査士回答のみ)

### 4. 総合的には



## Ⅱ. 講演・症例提供について(細胞検査士回答のみ)

### 5. 今回の研修会で気がついたこと、良くなかつたこと

- ・普段悩んでいたものが提示されていたので、業務に役立ちそう
- ・回答者、経験の浅い技師、ベテラン技師、演者など様々な意見がきけて、大変有意義だった
- ・教育講演の内容が真逆な感じでおもしろかった
- ・教育講演Ⅰの内容がよかったです
- ・教育講演Ⅱのデータ(細胞計測)は有意義であった
- ・症例検討時、活発なやりとりがあって大変有意義であった
  
- ・会場が暑かった
- ・相反する講演は迷う
- ・今後、低異型度尿路上皮癌をクラスⅡにするかⅢにするか迷う
- ・症例検討が難しすぎる
- ・症例検討ではテーマを始めにあげて解説してもらえると嬉しい
- ・症例検討の選択肢が不適切なものがあった
- ・症例検討で意図の分からないものがあった
- ・時間(巻く感じがない)

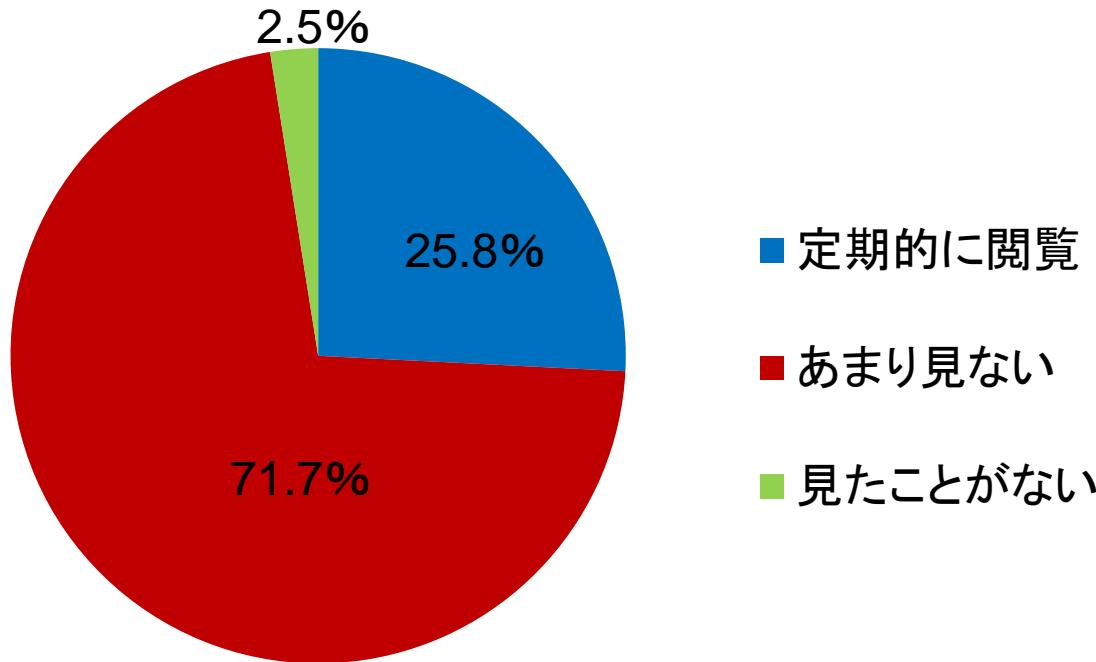
### III. 学術研修会で取り上げてほしい内容

		細胞検査士					計
		3年未満	3~5年	5~10年	10年以上	臨検等	
1	脳神経	3	0	3	5	0	11
2	口腔・歯科	4	2	7	5	0	18
3	唾液腺	2	1	5	6	2	16
4	甲状腺	7	2	6	12	0	27
5	呼吸器	5	4	6	11	1	27
6	乳腺	11	5	6	12	0	34
7	消化器	2	2	3	4	0	11
8	泌尿器	3	1	1	3	0	8
9	子宮頸部	3	2	1	8	0	14
10	子宮体部	8	5	6	17	0	37
11	卵巣	1	0	1	3	0	5
12	骨・軟部	3	1	3	2	0	9
13	中皮・体腔液	6	4	4	7	0	21
14	リンパ・血液	4	3	6	6	0	20
15	その他	0	1	1	3	0	5

#### その他の内容

LBC, 関節液, 新しい技術・方法など, ガイドライン・ワーキンググループ, 免疫・細胞診  
標本での注意点など

## IV. 東京都細胞検査士会ホームページについて



その他、掲載してほしいこと

- ・学術集会や学会講演の発表内容
- ・研修会等での発表スライド(参加出来なかった場合に役立つ)
- ・細胞検査士の職場環境について

## V. ホームページについての意見・希望

- ・メールマガジンをお願いします
- ・HPが見づらいため、あまりみなくなった

## 第44回 東京都細胞検査士会学術研修会 アンケート集計結果のまとめ

1. アンケートの回答は125名(細胞検査士123名, 臨床検査技師2名)から得た.
2. 細胞検査士の経験年数の内訳は、10年以上が一番多く(41.5%), 次に3年未満(23.6%)であった.
3. 講演等については、80%以上が適切の回答であった.
4. 症例検討においては、適切が62%に対し、難しいが36.1%あった.
5. 今後、学術研修会で取り上げてほしい内容については、子宮体部、乳腺、甲状腺、呼吸器、中皮・体腔液などの意見が多くかった.
6. 東京都細胞検査士会のホームページについては、「定期的に閲覧」が少なく(25.8%)、「あまり見ない」もしくは「見たことがない」が多かった(74.2%)が、前回調査に比べ約2%程「定期的に閲覧」が増加した.
7. ホームページについてはメールマガジンの希望や見づらいという意見もあった.

今回のアンケート結果は、今後の東京都細胞検査会学術研修会とホームページの運営に役立てていきたいと考えております。 (広報幹事会)